

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

上浮穴高等学校

評 価 実 施 日

令和8年2月27日(金)

委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	正岡 健司	(一社)久万高原町観光協会事務局長(学校評議員)	
	大野 盛隆	久万広域森林組合 代表理事組合長(学校評議員)	
	白川 真理	久万こども園 園長(学校評議員)	
	大西 洋三	久万高原町教育委員会 事務局長(学校評議員)	
	高山 哲也	久万高原町商工会 会長(学校評議員)	
	菊地 孝昌	久万高原町保健福祉課こども家庭センター	
	伊藤 孝平	三愛スポーツ 代表	
	重藤 博文	高齢者総合福祉施設 久万の里 施設長	

評 価 ・ 提 言 等

提言等に対する改善方策等

・上浮穴高校の頑張りが地元に伝わりつつある。

・農業クラブ、探究活動、地域行事の参加など町の人たちが評価してくれるのはありがたい。地元に向けてさらにアピールしていきたい。

・町内の中学生も減少しているが、地元からの進学にも力を注ぎたい。

・美川中学校にも交流学习の話をいただいている。久万中学校とも連携を取り、交流活動を行い、上浮穴高校のよさを分かってもらえるよう来年度努力したい。

・県外出身生徒には積極的な子が多く、地元の子はおとなしい子が多い傾向があるが、近年うまく刺激を与えあい、地元出身の子にも積極性がでてきて活躍するようになったことを評価したい。

・学校としても町内出身の子に積極的に声掛けを行い、様々な場面で活躍が見られるようになった。来年度も継続して声掛けを行いたい。

・伊予鉄南予バス(久万一面河線)の廃線について、町としてスクールバス(小・中・高専用)を平日走らせてフォローしていきたい。土日については懸案事項。

・町内でも遠距離通学者が複数いるが、行きは保護者帰りはバスなどいろいろなケースがあり、困りごと人それぞれである。各自に聞き取りを行い、町に声を伝えたい。

・久万高原長に今年度から「子ども家庭センター」ができた。今年度も一人上浮穴高校の生徒の保護者の相談に乗った。長期欠席になりそうな傾向の子がいたら、早めに連絡してほしい。町内の子のみならず、県外から来た子の相談にも乗る。

・保護者から離れて生活を始める生徒の相談に乗っていただけるのはありがたい。来年度は積極的に連絡を取らせていただき、連携を深めていきたい。

・コロナが明けてからの上高生の活躍が目覚ましい。地元の人たちも喜んでいて。

・今後も継続的に生徒が活躍できる場やしかけを作っていく。

・寮生(県外生)の活躍が目覚ましい。立ち上げの頃は、先生たちは大変だなと思ったが、今は寮の運営もううまくいき、優秀な生徒が集まってきている。

・県外から優秀な生徒が集まってくるようになったので、今後も全国募集に力を入れていきたい。同時に住環境の整備や、学べる学校環境を整えていきたい。

・出願状況を見ると、森林環境科にはこれまで以上に生徒が集まってきている。普通科にも人が集まるように努力を。上浮穴高校から、目標の大学に進学し、成功しているいくつかの例を知っている。中学校の説明会でそれらの卒業生の紹介をするのはどうか。

・美川中学校との交流は来年度早い段階で企画して実行したい。久万中学校・美川中学校の保護者説明会も新しい試みを行いたい。